

## 情操豊かな西部っ子の育成

～自らの考えをもち、表現できる子を目指して～

### テーマの説明

本校では、「正しく・仲よく・元気に」の校訓のもと、知、徳、体の調和のとれた人間形成を目指している。心豊かで、創造力をもち、助け合い、やりぬくことができる西部っ子の育成に向けて学校教育目標を「子供一人一人を見つめ、個の意欲と態度の伸長に努め、多様な指導と支援を図ることによって、校訓による目指す子供を育成する～全ては、子供たちの将来の笑顔のために～」とし、子供たち一人一人に確かな学力を付け、豊かな人間性を育むことを目指している。自然や文化など、さまざまなものに触れ、そこで感じたことや思ったことを言葉で表現し、思いを伝え合うことで、自らの考えを深めることのできる、心豊かな子にしたいと願っている。

### 「情操豊かな西部っ子の育成」のための実践・手立て

子供たちの興味・関心や探究心をかき立て、「やってみたい」「もっと知りたい」という思いや願いを生み出したり、「なぜ」「どうして」という疑問をもったりする体験を充実させる。同時に、プログラミング学習を含め、ICT機器の活用を推進して、GIGAスクール構想への対応も意識して実践を進める。

#### <地域と連携した『本物体験』等の例>

- 【1、2年生 特別支援学級】 季節の野菜作り 自然遊び〈春・秋〉
- 【3年生】 養鰻場・加工工場見学〈10月〉 えびせんべい作り体験〈11月〉
- 【4年生】 地域の施設と連携した福祉体験〈11月〉
- 【5年生】 実習田での田植え〈5月〉※今年度は中止 稲刈り体験〈10月〉  
町の先生の指導による箱寿司づくり〈11月〉
- 【6年生】 地域を巻き込んだ防災学習・地域の方々を講師とした生き方学習〈12月〉
- 【全学年児童・保護者】 地元ゆかりの講師を招いての特別授業等の開催〈6月・10月〉

#### ● 「体験活動の充実」について



## ● 「リレーションタイム」について

主体的・対話的で深い学びを実現するために課題解決的な学習を重視する。さまざまな体験を通して芽生えた思いや願いを実現したり、自ら考えた学習問題について予想をしたりする中で、子供たちが主体となって追究していく。その際、作品づくりや課題解決に向けて、授業の中でペアやグループ、学級で対話をする場を設定することで、周囲と関わり合いながら自らの考えを見直したり深めたりしていく。

その活動の下支えのための手立てとして「リレーションタイム」を実施している。授業や日々の生活での対話的な活動、表現活動を含めたコミュニケーション能力を支えるトレーニングの時間と位置づけ、年間を通して行っている。基本的な年間計画に基づいて、人間関係作りを中心に、毎週水曜日のドリルタイムに15分間で実施している。

## ● 学びの環境づくり

### (1) 言語環境を整える

- ア リレーションタイム（週1回）の実施
- イ 「西部っ子の学習」の教室掲示
- ウ スピーチタイムの実施

### (2) 情操環境を整える

- ア 学びの足跡がわかる掲示
- イ 児童作品や美術作品の校内展示
- ウ 温かな人間関係を築く取り組み



## ● 情操豊かな西部っ子を育てるための授業の推進



### 情操豊かな西部っ子を育てるための授業実践（単元・題材）

- 1年 生活科 「えがおいっぱい にこにこあきまつり」
- 2年 生活科 「夏の野菜を育てよう」
- 3年 総合的な学習 「元気のもとをぼくらの町から」～ウナギ・えびせんべい～
- 4年 総合的な学習 「共に生きる」～今、わたしたちにできること～
- 5年 社会科・総合的な学習 「育て考え確かめよう わたしたちの米作り」
- 6年 総合的な学習 「自分の命は自分で守る」～今、わたしたちにできること～
- ひまわり・なのはな・たんぼぼ学級 生活単元 「ひなたのスマイルピザパーティーへようこそ」